



内懐山 西本寺本堂

(寺院紹介は 4 P)

空知南組

組

報

第 2 号

1987. 5. 1

発 行

へ新年年度にあたって

空知南組 組長 杉田 英明



御本山においては、昨年、隣接地を入手することが出来て、私達も大変嬉しいことになりました。尚、そのことを一層の宗門発展の契機とするかの様に、五年後の展望の下、昭和六十六年に向け「四百年記念事業総合計画」が樹立せられて、ここに新年度を迎えたことでもあります。

亦、宗門の人材養成のための最高機関でもある龍谷大学においても、数年後には三百五十年を迎えることとて、滋賀県大津市に理工学部等新学部増設という大きな記念事業に踏み切り、宗門も三十億の助成を決めたことでもあります。

この様な事柄で、将来に向かって一層飛躍しようとする私達宗門の姿の一端が、具体的に偲ばれて誠に喜ばしいかぎりでございます。皆様も御同様かと存じます。

それにつけても、これら記念事業計画を完遂いたしますことは、並大抵のことではない大変なことであることは、申すまでもないところでございましょう。私達も、賦課懇志目標額の達成に、一層の努力を期したいこととでございます。

新年度にあたり先ず念願を記し、前年度中色々御世話になりました御礼を申し上げつつ、今年度も共に、御同朋御同行のあゆみを基幹運動推進という名の下に精進・努力いたしてまいりたいと存じます。本年度もよろしくお願い申し上げます。

合掌

「杉田英隆師をしのんで」 西願寺住職 西川 宗一

今年一月八日、杉田英隆老師が御往生なされた。九十五才であった。宗門の功労者であり、多年の御活躍とあいまって、広くの人々に惜しまれての御最後であった。

老師は、評すれば純粹の方であった。大正のなかば、単身三菱美唄の炭山へ開教のために飛び込まれて、やがて常光寺を創建、三菱美唄の閉山が現実となると、敢然、東明臥牛山に東明会館を壮麗に出現させ、その勢いや、とどまるどころを知らなかった。

また、創価学会の折伏には一歩もゆずらず、宗門の会合では正論をかけた、孤高をおそれずひたむきに主張された。つねに純粹な生きかたを選ばれたのである。

それがまた、壮年にして奥様と死別された時に、あえて困難な独身をおしとおす道を選ばせ、お子様方を養育され、しかも、常光寺の運営と両立させられることとなるのである。そこには、なみなみならぬお子様

たちへの愛情が秘められてもいたのである。こうした多忙ななかから、副組長の要職をつとめられ、緻密な頭脳と綿密な行動でよく組長をたすけ、次期組長の期待が高かったが、この組長は実現しなかった。今、御子息英明師が組長をつとめていられるのも不思議なめぐりあわせである。



近年、さすがに衰えが目立つ老師に、お子様方がそれぞれに孝行をつくされた。当然といえは当然ながらまた出来がたいことである。御人徳がしのばれてありがたいことであった。

合掌

追悼 佳米

「樋浦一道師の死を悼む」 正教寺住職 永岡 龍憲

三月二十二日午前八時頃電話のベルが鳴った。「上砂川です。今朝午前六時四十五分住職が亡くなりました……。」一瞬絶句した。そして故人の面影が走馬燈の様に脳裏を駆け巡った。かねてより今日のある事を知らされておったとはいえ今更乍ら冷酷な事実の前に涙した。

早速弔問に参上。白布に蔽われた故人のやせ細った肉体に「長年御苦労さんでした。」と満感の想いをこめて小経を誦した。たった半年の間、而も二度と大地を踏みしめる事もなく逝かれた住職。その間再起を信じて疑わなかった故人の姿を見るにつけて幾度か涙した事でごいましょう。辛かったですでしょう。

どうにもならない現実の中で、「名残りおしく候えども……」との聖人の御持言を載して浄土へお帰りになった事でしょう。想えば長いおつき合いでした。七百回大遠忌後相導師の約を結びての親しい交わり、教誨師としての十年來のおつき合のお世話になりました。あの豪快な性格、呑む程に酔う程に出てくるドンドン節（晩年はプツツリと止められた。）は忘れ得ぬ面影でございませう。大事な人

であった。立派な住職であった。その功績は葬儀の席で立派に証明された。多勢の門信徒、各界の名士の弔辞の中にさもありなんと恋慕涕泣しきりであった。今二度と温容に接する事の出来ない悲しい現実の中で、故人の残された足跡を静かに想い起し、遺族と共に報恩の大作にいそしまん事を約し追悼のしるしと致します。最後に故人の好きであった句、「花びらは散っても花は死なない 人は逝っても追憶は消えない 面影は去らない」消えぬ思い出、去らない面影をしのびつつ



南無阿弥陀仏

「わたしお嫁に来ます」(パート2)

空南の若院さんは皆さん急ぎすぎ？ 自動車免許証といっておめでた続きは、南幌町・妙華寺の若さんです。この度、江別の主といわれるほど歴史ある旧家のお嬢さまこと、高橋結香さん(22才)とめでたく結婚となりました。出会いはお寺で、きっかけは蓮如上人まっさおの若さんのレター作戦。プロポーズは？おーっと、銀世界の富良野スキー場で「スキだよ」と、しゃれてる場合でない。あまりの幸せで「最近顔がのびた」と両氏を知る人はいうのであります。

組の動き

(青少年部)

◎日曜学校・寺院子弟合同研修会が三月二十九日「思いやりの心」をテーマにおこなわれました。会場は志文町・静雲寺にて、一三〇名の参加者でした。また、子供達から集められたタオル百数十本は「緑成園こぶし荘」に子供の手により伝達されました。



(婦人部)

◎仏婦連協研修会が西本寺にて一六〇名の参加者のもと開催されました。講師は青木円成師。
◎寺族婦人会臨時総会が西本寺にて開催されました。
◎仏婦連協総会、四月二十五日に西本寺にて開催。

(門信徒部)

◎仏壯Bブロック研修会が十一月二十二、二十三日に岩見沢にて開催されました。当組よりは四七名の参加がありました。同じく空南組仏壯連協定期総会が三月二十八日に三川・鶴林寺にて開催。

新会長に光明寺・佐々木忠正さんが就任。

◎空南組総代会総会・研修会が二月六日、美唄・正教寺にて十八ヶ寺四〇名の参加者にて開催。講師は竹中徳成師。

(僧侶部)

◎空南会研修会が十二月二十二、二十三日に開催。同総会が四月十四日に開かれる。

(連研部)

◎連研も五回をかぞえ、四月十一日には第一回目の補修がおこなわれました。

(同朋部)

◎二月二十六日に講師に殿平善彦師を迎え、「差別と同和」について研修しました。二十五名の参加者でした。

(組会・基推委)

◎定期組会が四月十八日、於サンプラザにて開催される。
◎四月二十四日、基推委が岩見沢・光明寺にて開催。

唯尊寺主寸 ふれあい

テレホンサービス

☎(01237)

221553333

一度は心のダイヤルへ

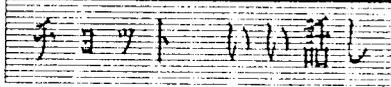
「わたしお嫁に来ます」(パート3)

あの電撃的な(関係者のみぞ知る、実は人形劇の人形を使つての)婚約発表より約半年、美唄・正教寺の若院様のご結婚することになりました。このよき御縁のお相手は、恵庭市本誓寺の野口誓世さん(チーちゃん・23才)で、今年の三月まで島松幼稚園で先生をされていました。若さん曰く「何事も最初が肝心、バンバンいきます。」といきなり関白宣言。「さてどうなりますやら。まずはおめでとうございます。」

☆「沖繩史跡の旅」

南空知の寺院八ヶ寺(報恩寺・唯専寺・誓報寺・静雲寺・万行寺・光明寺・賢誠寺・仏派大願寺)総勢一三五名の参加にて三月二日より六日まで四泊五日の日程で実施されました。

旅行日より恵まれますが、本山へ。国宝・飛雲閣等を拝



観して翌日のお晨朝には前門さまよりおかみそりをうけました。三日目は大阪より空路沖繩那覇空港へ飛び、南国の日差しに北国の参加者はとけそうでした。早速「ひめゆりの塔・北霊の碑」では戦没者追悼会をし、念仏者としての平和の誓いを新たにさせて頂きました。

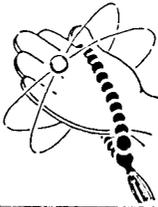
四日目は珊

瑚礁の海と青空の下終日観

光。夜は伊勢

エビの料理に

おなかもエビス顔、翌日お土産いっぱいを持って全員元気でわが家へ到着しました。



組の予定

◇5月6日

寺族婦人会定期総会

◇5月17日

北ブロック仏婦大会

◇6月18日

南ブロック仏婦大会

於本覚寺

◇6月20日

中ブロック仏婦大会

◇7月4日

仏青研修会於サンプラザ

◇9月下旬

寺族婦人会三〇周年記念行事

☆昨年十月三十一日、正瀧寺久保田一真さまがご本山にて住職補任式を受けられ、ご住職の任につかれました。

☆三笠・善照寺の林寺正俊くん(高二)が三笠市子供会連絡協議会より「善行賞」をいただきました。

☆角田・教覚寺さまに第三子誕生。教仁さまと命名。

『土寸陀院初和入』

内懐山 西本主守

○開基：明治二十七年九月、仮

説教所設立。同二十八年二月

奈井江説教所認可。同年四月

説教所本堂・庫裡落成に続き

五月一日に本堂落成並びに入

仏慶讃法要を勤修。

○寺号公称：明治三十一年一月

十八日に認可

○開基：龜山正法、二世・野上

鳳軒、三世・藤堂西浄、四世

・藤堂西涯

○明治四十三年三月六日本堂・

庫裡が全焼、大正二年二月に

新本堂完成、同年秋には仏教

青年会を結成。

大正三年四月十八日仏教婦人

会結成、同十二年一月七日日

曜学校開校。昭和八年五月に

は季節託児所開設。

☆光明寺若院さま東海大四バ

一部にて全国優勝。

☆報恩寺副住職真弥さん、伝道院住職課程を受講に出発。

組編集後記

ということ、巷では創刊号で廃刊かとの噂もあった組報ですが(なかったかな?)、無事二号を発行することができました。締切間際、証法寺御住職の突然の訃報のため記事を差し替えることとなり、原稿執筆をお願いしていた方には大変ご迷惑をおかけしました。

さて私事で恐縮ですが、広報部員にもかわらず、創刊号の自動車免許証事件に引き続き、第二号でも結婚話で紙面をにぎわせてしまいました。次号で二世誕生などということにならないよう気をつけなければ!!。(M・K)

組報に関する御意見・御希望等は組長事務所または広報委員まで御連絡下さい。組報名も募集しています。

九八七年五月一日 策 登

発行所 空知南組 組長事務所